

しみずの教育

ちよつといい話

【平成30年8月号】

清水小学校

校長 高井正樹

高校生に感謝

7月20日（金）、清水高校の生徒さんによる「木工教室」が2年生を対象に開かれました。子どもたちは、高校生の説明を聞きながら、事前に準備してくれたプロペラ機のキットを一緒に組み立てていきました。子どもたちに寄り添い、やさしく声をかけながら丁寧に教えてくれる高校生。子どもたちも安心して、楽しく活動することができ、かっこいいプロペラ機を完成させて大満足でした。子どもたちの笑顔と高校生の額に光る汗がとても印象的でした。清水高校の生徒の皆さん、ありがとうございました。



保護者のみなさんに感謝

天候にも恵まれた7月20日（金）～21日（土）、6年生が学校キャンプを行いました。保護者の皆さんが準備してくださった、焼き肉、キャンプファイヤー、花火、肝試し等々、どれもキャンプならではの楽しみに、子どもたちは心を躍らせ、大盛り上がりでした。眠れぬ夜を友だちと過ごし、体力を使い果たした子どもたち。翌朝は、みんな疲れ切った表情をしていましたが、たくさんの思い出を抱いて家路につきました。



エリック先生に感謝

7月25日（水）は、エリック先生の最後の英語授業でした。棚田先生とのコンビによる英語の授業は、低学年ではゲームなどを通して英語を身近に感じること、中学年では「聞くこと」「話すこと」、高学年ではさらに「読むこと」「書くこと」を加えて、楽しく学んできました。これからの時代を生きる子どもたちには、早いうちから英語に親しみ、興味をもって英語を学び、世界にはばたいていく人に成長して欲しいと思います。



2学期からは、また別の先生と英語を学んでいきます。（棚田先生にはこれまでと同様にお世話になります。）エリック先生、ありがとうございました。

表情豊かでねばり強く学ぶ子ども

校長 真下 正 則

4月9日（月）の入学式・始業式からスタートした今年度の教育活動ですが、7月26日（木）で74日間の1学期が終了しました。

子どもたちには、3つの『あ』～「あいさつ」「ありがとう」「あとかたづけ」をしっかりとできるようにという話をしてまいりました。1学期の間、子どもたちはそれぞれ努力して取り組んできてくれました。

25日間の夏休みには、「早ね、早起き、朝ごはん」に象徴される規律正しい生活、お手伝いで生活力をつけることが大切です。また、「ゲームやテレビの時間」については、長くならないようにし、



【石の子フェスティバル（スライム作り）】

そして計画的に家庭学習（読書等）に取り組む習慣を身に付けることも大切になります。

そして、夏休みには、長い休みでなければできないようなことにもチャレンジしてください。そして、8月21日（火）の始業式には、また128名の子どもたちが元気に登校して来ることを楽しみにしています。



【休み時間も頑張った（鉄棒練習）】

図書室等の工夫「本を読んでみよう！」



- 読書は新たな言葉、新たな知識、新たな情報を与えてくれる。今まで知らなかった言葉に出会うことができる。
- ここで大切なのは新しい言葉に出会ったとき言葉の意味を調べて考えること。
- 身近な辞書、あるいは高度な内容であれば百科事典を使って意味を確認することが大切。



清水中学校

夏休みまただ中、生徒たちは部活動の練習や大会・コンクールへの参加、地域行事、家族旅行等、充実した毎日を送っているようです。

さらに、自身の学習課題の克服や進路実現、そしてたくさんの宿題に取り組むため、自らの計画のもと、中学生としての本分を全うすべく勉強に取り組めます。そうした生徒たちを支援するために学校では各教室を開放し、課題克服へのサポートや学習へのアドバイスをを行っています。3年生は5日間、1・2年生は10日間設定し、参加可能な日にそれぞれの課題を持って参加します。毎回、20名前後の生徒が集まります。時には、夏休みに出かけた話で脱線することもあります。友人同士で教え合ったり、先生方にアドバイスをいただいたりしながら、自分のペースで一步一步進んでいきます。少し蒸し暑いですが、あれこれ悩みつつも自分自身と戦いながら取り組む姿は凛々しいです。

この夏、設置していただいた扇風機も各教室で大活躍です。さあ、2学期のスタートダッシュに向けて、もう一踏ん張りです。頑張り、中学生！



(教頭 須藤 正博)

御影中学校

然別湖でカヌー体験・ウチダザリガニの防除体験～1年自然体験学習から

校長 塚原 雄二

7月12日(木)1年生が然別湖でカヌー体験、そしてウチダザリガニの防除、調査の体験、試食を行いました。天候は晴天で絶好のコンディションの中、充実した自然体験学習を実施することになり、生徒にとっては貴重な学習の機会となりました。

【カナディアンカヌー体験】

カナディアンカヌーでは、二人のパドルの持ち方、こぎ方を教えていただきました。初めてカヌーに乗る生徒もいましたが、陸上で直進、右旋回、左旋回、停止の仕方、バックで脱出する方法、そして転覆した時の対処方法などの講義を受け、実際にカヌーに乗船しました。最初は操作の仕方に苦労しましたが、だんだんと慣れ、上手に二人で息を合わせながらカヌーを操ることができるようになり、然別湖の奥の方に行くことができました。



【ウチダザリガニ防除体験】

カナディアンカナヌー体験の時に、然別湖に仕掛けられたウチダザリガニのワナの回収も行い、午後からは特定外来生物に指定されたウチダザリガニの防除の歴史的経過や、現状のお話を聞きました。然別湖に生息するミヤベイワナや日本ザリガニを守るために、どうしなくてはならないのか？特定外



来生物のもたらす自然界の影響何なのか？を知るようになりました。今後、中学生として注意することは何なのかを考えさせられる非常に貴重な体験をする行事となりました。最後にウチダザリガニを塩ゆでにし、試食しました。

カニやエビと同じ食感を得て、中には大変おいしいと感じる生徒もいました。



清水高等学校

校長 平野道雄

北海道命名 150 年

清水町の「読書の日」である 19 日に合わせ、本校の図書室に「北海道関連コーナー」が設けられました。北海道命名 150 年事業の本校での取組の一環です。今年になってから様々な北海道 150 年事業が行われ、色々な場所で事業のロゴマークを見かけます。夏休み前の全校集会では、こうした記念すべき年のせっかくの長期休業期間なので、自分と、北海道、十勝、清水町などの地域や家族とのつながりを身近なところから見つめ直す機会にしてみたいと話したところです



【本校図書室の北海道関連コーナー】

清水高校、お色直し中

夏休みに入り、大規模改造工事が本格的に始まりました。工事は 2 年間の計画です。まずは 11 月まで続く外壁改修のため、校舎の周りをぐるっと囲む足場が組み立てられました。生徒の安全かつ学習や生活に支障が出ないように、配慮して進めていただいておりますが、駐車場スペースがなくなっています。向かいの清水町野球場の駐車場を一時的に使わせてもらっていますので、ご来校の際は、不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



【8月10日現在の本校工事の様子】

いします。

授業がない夏休み中ではありますが、生徒は、地域の小中学校との交流や、イベント・コンテストへの出場、部活動の大会や試合など、学校以外での様々な学びの機会で活躍しています。夏休み明けには、それぞれの成長した姿で登校してくれることでしょう。

清水幼稚園

園長 福原幸江

ほしの子まつり…天候を考え、園内で開催

7月13日（金）に、ほしの子まつりを開催しました。七夕飾りをつくったり、願い事を書いた短冊を飾ったりしながら、心待ちにしていたのですが、あいにくの天気が予想されたため幼稚園の中で開催することにしました。

開会式の中で、年長さんが『よい子のちかい』の大役をこなしました。お友達と話し合いながら考えた“ちかい”ということで、心ひとつにとても上手に発表していました。また、ほしの子まつりに向けた共同制作として、年長さんが『宇宙コレクション』を制作しました。宇宙ステーションや、太陽系の惑星などとても考えられていてびっくりです。

夜店には「ヨーヨー釣り」、「輪投げ」などのゲームや食べ物として「焼き鳥」「ザンギ」今年初めての「フロート」などが出店され、子どもたちも大喜びでした。

準備いただいた父母と先生の会実行委員さん、ひぐまの会（お父さん）の皆様のおかげと感謝しています。



【宇宙コレクション】



【よい子のちかい】



【父母と先生の会】



【ひぐまの会】

プール活動…水に親しむ

清水小学校プールを利用して、『プール活動』を2回行いました。水中の貝拾いやフラプープくぐりなど水に顔をつけての活動でしたが、お友達と競いながら楽しく水に親しむことができました。

今年は思ったように気温が上がらず、園庭での水遊びが3回し



かできませんでした。異年齢で遊ぶことを楽しみにしていたので少々残念です。夏休みに入りやっと暑い日がやってきました。きっと笑顔いっぱい水遊びやプールに出かけていることと思います。



教育委員会

第11回 中・高連携サイエンス・サマースクールの開催

ペットボトルロケットを打ち上げよう！！

毎年恒例のサイエンス・サマースクールも今年で11回を迎えました。今回のテーマは「ロケットの飛翔制御」です。炭酸用ペットボトルを用いた水ロケットを製作し、目的の場所にいかに近く着陸させることができるかを競います。

ロケット製作は比較的簡単でした。どの子も真剣そのもの。立派なロケットができあがっていました。

次は打ち上げです。ロケットに水を入れ、発射台にセットし、ポンプを押し、圧を加えます。3, 2, 1, 0のカウントダウンとともに、水しぶきを上げて飛び立つロケットに「おおっ！」という歓声が上がります。ロケットは様々な方向に飛んでいきました。グラウンド中央にセットされた的にはなかなか近づきません。次にグループで、目的地に着陸させるためにはどうすればいいか相談をしました。水の量、ポンプを押し回数（圧）、飛び出す角度などを変えてトライアルしました。

最後に本番です。グループ代表のロケットによる一発勝負です。見事優勝したのは高校生のグループでした。優勝の賞品は宇宙食でした。アンケートには、「ロケットの制御は難しかったけれど、とても楽しかった」という声が多く書かれていました。



(教育指導幹 清水彦一)



みどり教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

夏〜かぐわしい香りの中で 志(夢)大きく高く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、家族の一員

お手伝い

地域は、笑顔で声掛け

こんにちは